


## 条件つき確率

事象  $A$  が起こったときに事象  $B$  が起こる確率を **条件つき確率** という


ref: 数学図鑑 p38~39

 **条件つき確率** 事象  $A$  が起こったときに事象  $B$  が起こる確率を  $P(B|A)$  あるいは  $P_A(B)$  と表し、これを  $A$  が起こったときの  $B$  が起こる **条件つき確率** という

条件つき確率では、標本空間「全体」ではなく、その一部分である「 $A$  が起きた場合」に限定して考える

その中で  $B$  も起こる割合だから、「 $A$  かつ  $B$ 」の確率を「 $A$ 」の中での割合でみればよい

$$P(B|A) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)}$$

 **条件つき確率の公式** 事象  $A$  が起こったときの事象  $B$  が起こる条件つき確率は、

$$P(B|A) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)}$$